

新宿区環境基本計画についての諮問に当たって

平成15年1月29日

環境土木部環境保全課

1 新宿区環境基本計画の目的

新宿区環境基本計画は、平成6年に策定した新宿区環境管理計画を見直し、新たな課題に対する施策を総合的・体系的に推進するために策定するものである。

2 環境基本計画策定の背景

環境管理計画の成果

環境管理計画は、それまで統一を見なかった各種の施策を、環境という視点から総合化したものであり、この計画のもとに、環境都市宣言、環境基本条例やポイ捨て禁止条例の制定、また、環境行動指針の策定に基づくISO14001の認証取得など、環境改善のための枠組みや行動の指針を提起したことなどにおいて、一定の成果をあげてきた。

環境管理計画の問題点

しかし、同時に、管理計画の推進において、各種の環境施策がどれだけ実現されたか、また、区民や事業者が実際に具体的な環境保全行動をどれだけ実施できたかについては、かならずしも十分に把握できたとは言いがたい。その理由として、管理計画においては、具体的な目標値や評価方法の欠如、区民・事業者との連携と協働によるしくみづくりが不十分であることなどが挙げられる。

環境問題をめぐる動向の変化

管理計画策定から9年が経過し、環境問題をめぐる状況は大きく変化した。環境基本法や循環型社会形成推進法の制定をはじめ、京都議定書に基づく地球温暖化対策、さらにはNPOの動きや住民意識の着実な進展など、新たな課題への対応と多様な環境活動主体との連携と協働が求められるようになった。